



平成 23 年 4 月 26 日

各 位

会社名 株式会社 小林 洋 行  
 代表者名 代表取締役社長 細 金 成 光  
 (コード番号 8742 東証第一部)  
 問合せ先 取締役経営企画室長 宮 崎 誠 二  
 (TEL 03-3664-3511)

### 平成 23 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 4 月 26 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の連結業績予想及び個別業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

なお、当社グループは通期の業績予想をレンジ形式で開示しておりますので、増減額及び増減率は予想レンジの下限で行っております。

#### 記

##### 1. 平成 23 年 3 月期通期業績予想の修正

###### (1) 連結業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 22 年 10 月 25 日発表)	3,200～ 4,500	△1,400～ △200	△1,400～ △100	△1,000～ △130	△105.88～ △13.76
今回修正 (B)	2,885	△1,602	△1,534	△1,488	△157.65
下限に対する増減額(B-A)	△315	△202	△134	△488	—
下限の対する増減率 (%)	△9.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 22 年 3 月期) 実績	3,360	△1,995	△1,899	△1,603	△169.83

###### (2) 個別業績予想数値の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 22 年 10 月 25 日発表)	200～ 1,000	△800～ △230	△700～ △150	△700～ △160	△74.12～ △16.94
今回修正 (B)	152	△910	△837	△1,103	△116.64
下限に対する増減額(B-A)	△48	△110	△137	△403	—
下限に対する増減率 (%)	△24.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 22 年 3 月期) 実績	563	△1,213	△1,120	△1,200	△127.09

## 2. 連結業績予想修正の理由

当社グループは、投資・金融サービス業（商品先物取引・証券取引・外国為替証拠金取引）とその他の事業（ゴルフ場運営・太陽光発電機及びオール電化機器等の販売、インターネット広告業等）を事業領域としております。

平成 22 年 10 月 25 日に投資・金融サービス業の実績（4 月～9 月）及び厳しい事業環境が続くことを想定し、通期業績予想の修正を行いました。その後は、子会社の投資・金融サービス業におきましては、ほぼ予想どおりに業績は推移いたしましたが、平成 23 年 4 月 25 日公表の当社連結子会社である株式会社フジトミの業績予想修正のとおり、太陽光発電機及びオール電化機器等の販売、LED 照明の販売の売上が予想を下回ったこと、また、当社においても営業収益が目標の下限に達することが出来ず個別業績予想を修正したことより、連結業績予想を修正するに至りました。

## 3. 個別業績予想修正の理由

外国為替証拠金取引の受託業務におきましては、レバレッジ規制の影響や新規参入企業の増加による競争の激化もあり、受取手数料が著しく伸び悩みました。また、自己ディーリング部門も安定した結果をもたらすことが出来なかったことから、平成 22 年 10 月 25 日に修正した収益目標の下限に及ばない結果となり、業績予想を修正することになりました。なお、本日公表のとおり、特別損失として、有価証券評価損 41 百万円、持株会社体制への移行に伴う事業構造改善関連費用等 141 百万円、訴訟和解金 100 百万円などを計上しております。

(注) 上記に記載した内容は、現在集計中の資料に基づいて作成したものであり、後日開示する通期業績と異なる場合がありますので、ご了承下さい。また、上記に記載した内容は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上